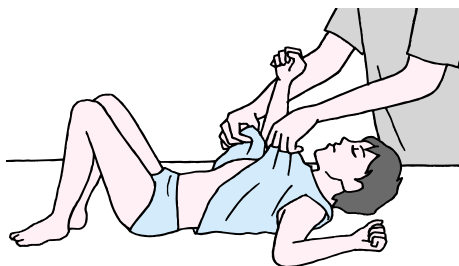
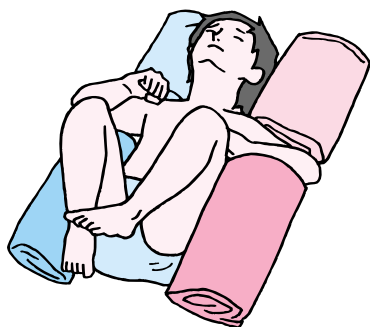


ひきつけ (けいれん)

- ・高熱時、激しく泣いている最中に発作
- ・テレビなどの視覚刺激も原因に



- 1 衣服のボタンなどを外し、呼吸が楽にできるように。
- 2 周囲にあるぶつかると危険なものを遠ざけ、体の周りに柔らかいタオルやクッションを。近くにストーブがあるときは接触によるやけどにも注意を。



- 3 高熱時は冷たいタオルなどを頭部に。
- 4 発作はたいてい数分。治まったら回復体位（※6 ページ参照）にしてしばらく安静に。
- 5 ひきつけが長時間続いたら早めに小児科などへ。

次のポイントを医師に報告

- 1 けいれんの持続時間
(手足の動きが止まっても意識がない時間を含む)
- 2 けいれん時の手足の動き
(特に左右差)

注意

*あわてて体を押さえつけたり、激しく揺るのは禁物。ひきつけで舌をかむ心配はまずないので、口にタオルなどの詰めものは不要です。

*高熱時にたびたび発作をおこすようなら、かかりつけ医に相談して解熱剤（坐薬）を常備し、熱の上がり具合をみて早めに使用を。ひきつけが頻繁におこる場合、脳炎や髄膜炎などの重い病気も考えられます。